



講演会と 交流いも煮会



米沢支部の講演会と交流いも煮会が、去る9月22日、ホテルサンルート米沢で開催されました。講演会は山形大学有機エレクトロニクス研究センター長の大場好弘教授を講師に、「有機エレクトロニクスの将来と米沢の役割」と題して講演。大場教授は『環境課題は地球・人類からのメッセージで、やりがいがあり、チャンスと捕らえる。山形大は基礎研究から産業化まで幅広く、東北再生へ貢献したい。有機EL（個人）から有機エレクトロニクス（組織）への転換でエネルギー、環境での最重要課題。

これからの米沢に必要なのは①製造販売を行う企業 ②人材育成コーディネーター（ビジネスクリエーター他）③プロのマネジメント組織 ④知的開発型の雇用開発－「地域に根差し、世界を目指す若手人材の育成」とし、未来像として◎未来型先進産業地域・米沢 ◎新たな革新技術で産業集積化を実践する－「米沢に人と産業の集積」を実現したい』と抱負を語った。

引き続き講師を囲んでの交流いも煮会に移り、参加者はいも煮を囲んで交流を深め合いました。

米沢有為会は平成二十一年に創設百二十周年を迎えたが、米沢の代表的地域産業・米沢織物業界も平成二十四年は織物組合創立百二十周年の節目の年だったという。糾余曲折、山あり谷ありの時代の変遷に対応して一世紀を超え、連綿と歴史を積み重ねタスキを繋いできた先人に敬意を表したい。

米沢織物は、上杉鷹山公が藩財政を立て直すための殖産産業として新潟県小千谷から技術者を招き、藩士の婦女子に習得させたのが始まりとされ、根付いた要因は「天・地・人」と言われる。すなわち①米沢は豪雪寒冷地帯であり、屋内作業を選ばなければならなかつたこと「天の時」②藩内に原料としての麻があり、後に養蚕が盛んになるなど原材料が豊富だつたこと「地の利」③根気と粘り強い気質と人材教育「人の和」。

米沢織は山形県を代表する基幹産業になり、米沢高等工業学校（現山形大学工学部）の設置にも尽力している。およそ百年前、秦逸三教授によって我が国で初めての化学繊維（人造絹糸）が開発され、現在のティグジンのスタートとなっている。

そういえば市民ミュージカル「フェイエ」（未来をつむぐ実験室）は秦教授の話。市内でも好評で、三月二十四日（日）午後二時から東京・荒川区のサンパール荒川で東京公演が実施される（入場無料）。東京の友人に知らせなくては。

第 26 号
平成25年2月20日
発行者
(社)米沢有為会米沢支部
支部長 安部三十郎
米沢市金池5-2-25
☎ 0238-22-5111



広報部長 山宮光雄

歴史伝統は重く、後世へ繋ぐ責任が

米沢有為会米沢支部だより

我妻榮先生の冊子、挿絵の打ち合わせ
(中央が那須野さん)開館20周年記念事業
我妻榮記念館

◆ 報告1 啓蒙普及活動

「故郷を愛した民法学者我妻榮先生」という小学生向け小冊子を作成し、市内小学校5・6年生に配布しました。配布するに当たり各小学校のご協力を得て、上村館長他数人で手分けをして、各小学校を訪れ我妻榮先生のお話をさせていただき、ぜひ読んでほしいと伝えました。残部は記念館で頒布(三〇〇円)しています。

ここではその冊子の一部を紹介します。内容は6話構成です。残部は記念館で頒布(三〇〇円)しています。

一 品行乙と赤井運次郎先生
二 相馬市までの無錢徒步旅行
三 四枚の絵はがき(兄妹愛)
四 立法の指導者として
五 民法のバイブル
六 故郷への想い

他に略年表を載せました。挿絵は市内の那須野浩さんにお願いしました。

◆ 小冊子本文より
一 品行乙と赤井運次郎先生

我妻榮は、米沢中学校(現米沢興譲館高等学校)の英語の先生であった我妻又次郎の長男となりました。明治三十一年(一八九七年)四月一日に米沢市鉄砲屋町(現中央三丁目・我妻榮記念館所在地)で生まれました。

榮は、小学時代、人に教えるのが好きで、授業中教室の中をあっちへ行つて教えたり、こつちへ来て教えたりじつとしているので、よく叱られて立たされました。他の科目が甲(優)なのに、品行(行動)だけは乙(良)でした。

四年生の時に赤井運次郎先生が受持になつて、品行が甲になりました。赤井先生は、お母さんに「新しく教わる所はすでに予習でよく判つていて自分が教えたくてちょろちょろ騒ぐのだから、少しも悪意がないので、素直な勉強振りに品行を甲にしました」と話され、お母さんは非常に喜ばれたそうです。それから後、赤井先生は榮に分からぬ子に教えるように命じられ、榮は見事にその役を果たしました。

我妻榮は赤井先生の恩を深く感じ、米沢に帰れば必ず先生の家を訪れ、旅行に出れば旅先からその土地の菓子や名物を送り、湯河原の別荘で作ったミカ

生」と述べています。

鳩山秀夫先生は、榮が学んだ東京大学法学部の指導教授として研究方法を教えられ、東大で研究者の道を進むことを勧めてくださった恩師です。鳩山先生は早く亡くなれ、榮は、未亡人へ旅行先からの名産や本を送り続けました。



◆ 報告2 啓蒙普及活動

「民法一筋に生きた我妻榮」

というDVDを制作しました。

10分物と20分物の2バージョン

あります。記念館を訪れた方に概要を見てもらう意図で10分物があります。時間に余裕のある方は20分物を視聴されると思います。

学校教育あるいは社会教育の場で視聴いただけるように、貸し出し用もそろえてあります

で、記念館においてください

うお願いいたします。

（記念事業実行委員会）

◆ 小学生の感想文紹介

1 読書感想文

松川小学校6年 石山英璃奈

私は我妻榮先生のお話・物語を読んで、榮先生はとても故郷を愛し、とってもいい行動をする人だなあとと思いました。榮先生の本でいいなという言葉がありました。「守一無二無三」です。まつすぐに一筋の道を歩む。この言葉がすごく心にしみています。だから私もまっすぐに一筋の道を少しずつやっていこうかなと思いました。榮先生はやっぱりすごい人で榮先生のことを知れてとっても良かったです。

2 記念館見学感想文

興譲小学校6年 沼田美季

私は榮先生の頭の良さだけでなく、家族愛や母校への優しい気持ちがたくさんあったことを知つて、心が温かい先生だな

と思いました。私も将来心の温か

い人になりたいと思いました。

この度発行した小冊子を読んだり、記念館を訪れていただ

りたくさんの皆さんに感想文を寄せていただきました。ありがとうございました。小学5、

6年生に榮先生を知つていただきすごく良かったと思います。

先生の生家を思い出していた

きいつでも寄つていただきたい

と思いました。

リレー随想 (12)



「六十歳過ぎてから」

山形ジエイアール直行特急保有株
代表取締役専務

近野 久左工門

私は昭和四十三年十月、仙台興譲館寮の改築を機に入寮しました。当時は七十年安保闘争で騒々しく、大学は全学封鎖で授業も無い時期もありました。そんな外の雰囲気とは一線を画し、寮では良き同級生・先輩・寮母さんに恵まれ、得難い人生経験を積むことができました。改めて感謝申し上げる次第です。

さて、山形県を退職した四年前、知人から誘われ、還暦記念にマラソン大会（五キロの部）に出場することになりました。しかし、六十年間の不摺生で錆びついた体は、思うよう動きません。両肩は五十肩の後遺症で動かず、股関節も固く、足はがに股で、ドタバタしたバランスの悪い走りしかできません。その上、私は三十歳代半ばに膝を痛めて、それ以降は過激な運動をできるだけ控えてきたという事情もあります。と

にかく、走れる身体づくりと持病の膝に負担をかけないフォームづくりが先決でした。

そこで、カイロプラクティックに通つて五十肩の治療を始めると共に、雑誌やインターネット動画を参考に、

① ストレッチ・体操

② ランニングフォームづくり

に取り組みました。その結果驚いたことに、筋肉の動きが良くなり、三十歳の頃の柔軟性が復活しました。姿勢も良くなり、頑固な肩凝りも消失しました。四年目の今年は、フルマラソンを走ることにしていました。

高齢になつても、筋肉は動かすことによつて若返ります。脳も使うことによつて活性化します。六十歳前後で退職し、頭と身体を使わなくなると、老化を促進させることになります。かねません。それでは大変勿体ない話です。

これからは、高齢者が働けるシステムづくりが大切ではないかと思います。また、働く方も、退職後を見据えて資格取得やキャリア形成を考えいく時代になつているのかもしれませんね（自己反省も踏まえて）。

～ 活躍する会員紹介～ (14)

株式会社 天元台 代表取締役

斎藤 友久



Q1 スキー場開設50周年を迎えた会社とスキー場のプロフィールをお聞かせ下さい。

天元台高原は、昭和36年まで採掘を行っていた硫黄鉱山が廃鉱になり、その跡地に、昭和38年7月、日本交通公社、山形交通などの資本により吾妻観光開発株が創業、同年12月、ロープウェイ1基・リフト2基・ロッジの営業を開始、昭和40年、ホテル・リフト1基を加え、以来全国にも名高いパウダースノーのスキー場としてマニアから高い評価を得、昭和52年株式会社天元台と改称、最盛時には年間10万人の観光客で賑いましたが、スキー人口の減少などにより入込客が減少し、平成14年には施設が米沢市に移譲され、運営会社として株式会社西吾妻ロープウェイが米沢市、山形県、米沢信用金庫、山形銀行や地元経済人らの出資によって設立され、平成19年社名を旧名称 株式会社天元台に改め現在に至っています。

現在では、スノーホーのほか、夏季にはトレッキングブームを背景に全国から多く訪れ、年間を通して観光客で賑わっています。

Q2 グリーン期とスノーホーの誘客活動についてお聞かせ下さい。

年間を通しての誘客を図るため、夏山シーズンには日本百名山のひとつとしてトレッキング客が全国から増加して

いることから、エージェント等との連携を強化していきます。また、本社の収入の柱であるスノーホーには天元台スキー場の持つ雪質をアピールし、スキー・スノーボー客の増加を図り、一方で最近流行しているスノーシューの冬山トレッキングの企画や市民感謝デーなど様々なイベントを行い、北関東や南東北をはじめ県内、市内においても積極的なPR等の誘客活動を行っていきます。

Q3 開設50周年を迎える、自然や施設・設備を生かした取組みを教えてください。

四季折々の特徴ある自然資源を社会教育や学校教育に活用していただくことで市民のみんなが豊かで自然を愛む機会になればとその時おりのテーマでの研修会や学習会を実施していきます。

- 季節が与える木々や草花の恵みを題材に様々なイベントを企画する。

- 天元台高原にあるロープウェー・リフト、圧雪車などの見学会

- 非常時を想定したサバイバル訓練の企画

Q4 天元台高原の機能と会社の経営方針をお聞かせください。

天元台高原は、磐梯朝日国立公園内にあり、その環境の保全管理及び資源保護などの中継地として、また、近年は米沢市民をはじめ地域の皆様の生活に欠かせない情報機能の地上デジタルテレビ、警察、消防、行政防災設備などが設置され、その設備の維持管理に当社の索道事業は重要な交通手段として使われており、自然からいただいた資源を次世代に繋いで行く役割を担うため、株天元台の経営安定を目指していきます。

米沢有為会奨学生 募集!!

受験生の皆さんへ！

合格後の学費計画は万全ですか？米沢有為会が奨学生で支援します。

受験前でも応募できます！

○貸賃額：月額4万円

○募集人員：5名程度

○面接：3月23日(土)

(伝国の社)

進学担当の先生又は米沢有為会にご相談ください。

(0238-22-5111

米沢市秘書広報課 鈴木補佐
www.yonezawa-yuuikai.org/

黄加齋五十嵐
木藤藤正秀秀文
登明一彦

新しく会員になられた方々

(平成25年2月15日現在)

(敬称略)

中国からの有害物質PM2.5による健康への悪影響が懸念されている。我が国でも藏王の樹氷にも黒い粒子が見られたと言うし、防御するのは困難。中国政府の環境基準強化を切望する。(山)

編集後記

問合せ先

東京興譲館寮 東京都調布市入間町1-36
募集人員：8名程度
寮費：47,000円～(朝夕2食付き)
面接：3月12日(火) 伝国の社
3月23日(土)

仙台興譲館寮 仙台市青葉区角五郎2-6-21
募集人員：10名程度
寮費：40,000円～(朝夕2食付き)
面接：3月12日(火) 伝国の社
3月24日(日)

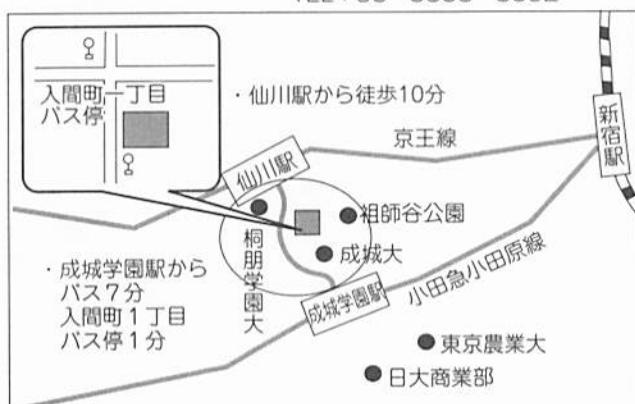
東京興譲館：03-3309-3302 仙台興譲館：022-222-4790

米沢市役所(秘書広報課)内 米沢有為会 米沢支部 0238-22-5111(内2011)

募集要項などの
くわしいことは <http://www.yonezawa-yuuikai.org/>

米沢有為会 検索

東京興譲館寮：東京都調布市入間町1-36
TEL：03-3309-3302



仙台興譲館寮：仙台市青葉区角五郎2-6-21
TEL：022-222-4790

